

# 当院における ルシェロ活用法

福岡県 医療法人美創会 歯科・林 美穂医院  
 歯科衛生士 歯科衛生士  
 松本 彩 筒井沙也香



## はじめに

厚生労働省により行われた歯科疾患実態調査をみると、8020運動が開始された当初、75歳以上の後期高齢者は一人平均5本程度の残存歯数で8020を達成している方の割合も10%にも満たない結果となっていました。しかし平成23年度に行われた最新の調査では38.3%となり、平成17年の調査結果24.1%から年々増加傾向にあります(図A)。

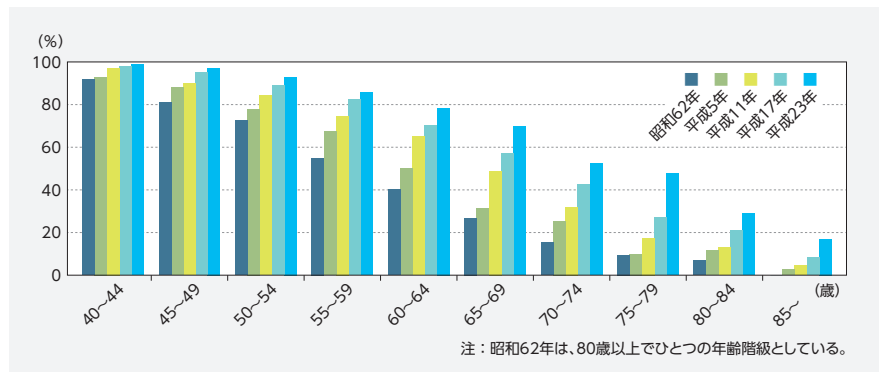
近年、インターネットや雑誌、メディア等によりう蝕、歯周病の特集も多く散見され患者さんの口腔内に対する意識が高まり、変化してきた様に感じます。その影響もあり、口腔ケア用品(以下ケア用品)の種類もさらに豊富になり、一般市場でも幅広く展開されているため、患者さんは自由に購入することが可能となっています。

しかし、口腔内の状態は様々であり、患者さんが独自に自身の口腔内にあったケア用品を選択することは難しく、数多い中で、個々の患者さんに適したケア用品を選択し、口腔内の状態に応じたアドバイスを行うことは私たち歯科衛生士の大切な仕事であると思います。

また、患者さんに直接使っていた

くケア用品は確実に結果を実感できるものを選択していきたいと考えていますが、特に種類が豊富にあり、症例に応じて選択できるルシェロシリーズは欠かせないツールだと思います。

そこで今回、当院で主に活用しているルシェロシリーズについて、症例を交えてご紹介させていただきます。



図A 20本以上の歯を有する者の割合の年次推移 (厚生労働省 平成23年歯科疾患実態調査より)

## ルシェロ歯ブラシ B-20M/S ピセラ、P-20M/S ピセラ

まず最初に、「ルシェロ歯ブラシ ピセラ」についてご紹介いたします。「ピセラ」は、むし歯予防のBasicと歯周病予防のPerioの2タイプから選べます。

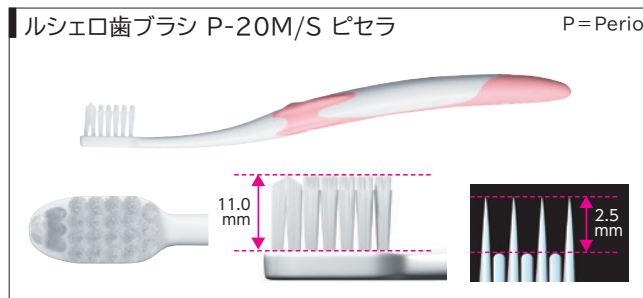
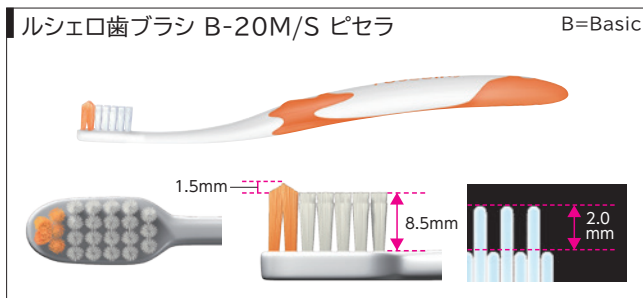
さらに毛のかたさ(M:ふつ／S:やわらかめ)を入れれば合計4種類がありますので、症例に応じて患者さんへ処方することができ、選択しやすい製品だと思います。

Basic/Perio共通の特徴として、ゆるやかなカーブネットによって、通常の歯ブラシと比較して楽に奥までブラシが届きやすく、歯ブラシの先端部が山型形状をしているため、歯間部や叢生部分、磨きにくい最後臼歯遠心もしっかり磨くことができます。

長い毛と短い毛を混合した段差植毛により、歯間部や歯周ポケットなどにもブラシが入り込み、しっかりアプローチすることができます。

「ピセラ」は、子供や女性をターゲットに作られた歯ブラシですが、比較的口の小さな男性にもご提案すると、かなりリピート率の高い歯ブラシだと感じます。

この「ピセラ」をはじめ、ルシェロ歯ブラシやフロスなどルシェロシリーズは今までになくデザイン性に優れ、女性、子供の方にとっても人気がありますが、男性にも受け入れやすく、購買意欲を促すツールではないでしょうか。



1-1 20代女性。前歯補綴不適のため来院。同時にプラークコントロール不安定のため、歯垢染色を行う。歯間部と臼歯部歯頸部に主にプラークがみられ、歯間乳頭部などに炎症がみられる。歯ブラシを当てると痛みを伴ったので、「ルシェ口歯ブラシ B-20S ピセラ」を処方した。



1-2 磨き方はスクラビング法、また、ブラシ先端の山型形状を利用して、歯間部などを磨くよう指導した。



1-3 TBI後、2週間経過した口腔内写真。全体的に、歯肉の炎症は落ち着いてきたように観察される。



2-1 30代女性の口腔内。部分的に叢生がみられる。



2-2 叢生部を考慮して「B-20M ピセラ」を処方。ブラシ先端の山型形状（ピンク色の先端集中毛）が磨きやすいと好評である。



3-1 20代男性の口腔内。部分的に叢生がみられる。



3-2 「B-20M ピセラ」の先端を活用し、叢生部のプラーク除去がスムーズに行える。



3-3 口蓋側もブラシの先端部を活用することで、磨きやすくなる。



4-1 40代女性。初診時にTBIを行い、一時改善していたが、時間が経過し、歯間部に多量のプラークがみられる。



4-2 染めだしてみると、やはり多量のプラークが確認できた。



4-3 ハンドル部が持ちやすく磨きやすい「ルシェ口歯間ブラシ (SS)」をご提案した。





4-4 同時に、「B-20M ピセラ」を処方した。



4-5 ダイレクトにブラシが当たるように、縦磨きも実践していただく。



4-6 TBI後の口腔内写真。しっかりプラークが落ちてきているのが確認できる。



4-7 一週間後の口腔内写真。「ルシェロ歯間ブラシ」はハンドル部が長くとても使いやすいというご意見をいただいた。



矯正装置を装着している口腔内は、セルフケアも難しくなります。そのためカリエスリスクが高まってしまうので、来院時のクリーニングとして当院では必ずワイヤーを外した状態でのクリーニングを徹底しています。

矯正装置がついているので、ピセラの先端の部分を応用しながら磨くように患者さんへ指導しています。また、歯間ブラシを使用する時は「ルシェロ ポイントケアジェル」を併用していただいています。



5-1 20代、女性。ワイヤーをつけた状態で「B-20M ピセラ」をブラケット周囲に当てている。セルフケアでは歯面を磨けていても、ワイヤーを通している部分は歯間を磨く限界がある。



6-1 20代、女性。このような複雑なワイヤーが入っていると、セルフケアには限界がある。



6-2 ワイヤーを外した状態で、「B-20M ピセラ」を使用するとしっかりプラークを除去できる。



6-3 歯間ブラシを使用する際には「ルシェロ ポイントケアジェル」を活用する。

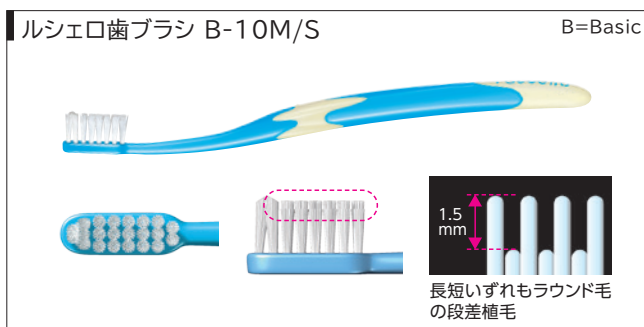
## ルシェロ歯ブラシ B-10M/S、P-10M/S

ルシェロ歯ブラシには、「ピセラシリーズ」の他にもB-10、P-10の2タイプあり、ピセラ同様に毛のかたさ（M:ふつう/S:やわらかめ）を入れると4種類あります。

「ルシェロ歯ブラシ B-10」は先端集中毛が、最後臼歯遠心面や小窩裂溝部にしっかり届き磨きやすく、また段差植毛は、長い毛と短い毛がラウンド毛で高い清掃効果を発揮し

ます。当院では、「ルシェロ歯ブラシ B-10M」を健康な歯肉～歯肉炎の男性に処方しています。

「ルシェロ歯ブラシ P-10M」はB-10の特徴であるラウンド毛ではなく、長い毛にコシのあるテーパー毛を採用しており、歯間部や歯周ポケット内に到達し、健康な歯肉～軽度歯周炎や歯周病のメンテナンス期の方に処方しています。





7-1 20代男性。プラークコントロールに波があり、今回舌側に多量のプラークがみられた。



7-2 口腔内は比較的大きく、半埋伏歯がみられたので、「ルシェロ歯ブラシ B-10M」を処方した。



7-3 ルシェロ歯ブラシはヘッドが比較的大きく、このような半埋伏歯部分にも先端の凸部分が応用できる。



7-4 TBI直後の口腔内写真。歯肉炎症がみられ、出血もあるが、しっかりプラークを落とすことができた。



7-5 2週間後の口腔内。歯肉の炎症も落ち着き、プラークも以前よりしっかりと落とせている。

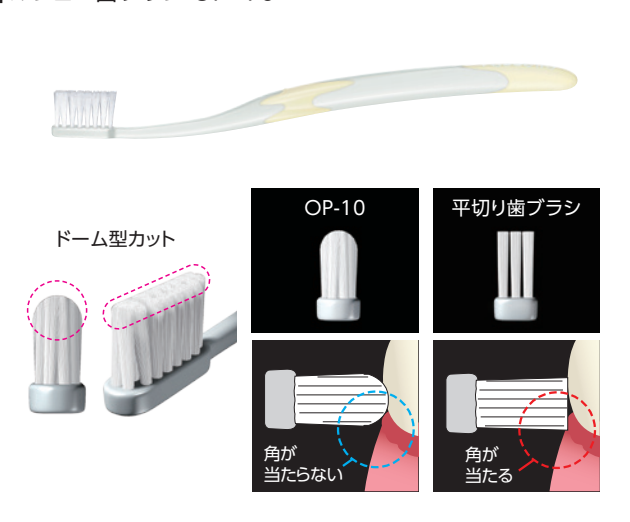
## ルシェロ歯ブラシ OP-10

外科処置の後や重度の歯周炎の方に使用しています。毛が細く、とても柔らかいので患者さんに痛みを与えずに当てることが可能です。また、ドーム状の形態をしており、歯肉にダイレクトに当たらないように、歯冠のプラークを落とすことができます。



8-1 外科処置の後や重度の歯周炎の場合は「ルシェロ歯ブラシ OP-10」が良い。ちなみに外科処置を行った患者さんには、1週間後を目安に症状に応じて処方している。

### ルシェロ歯ブラシ OP-10



## ルシェロ フロス

「ルシェロ フロス」は、マイクロファイバーを採用しており、歯のすみずみまでしっかり汚れを絡めとってくれます。当院では、アンワックスタイプをプロフェッショナルケア時

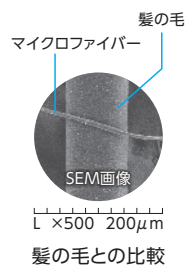
に使用しており、患者さん自身が使用するフロスはワックスタイプをオススメしています。

### ルシェロ フロス

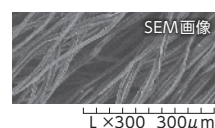
プロフェッショナルケアに最適な  
ルシェロ フロス アンワックス



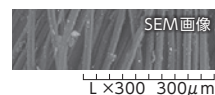
患者さんのセルフケアに最適な  
ルシェロ フロス ミントワックス



髪との比較  
L×500 200μm



SEM画像  
L×300 300μm  
ルシェロ フロス  
繊維数約1400本



SEM画像  
L×300 300μm  
当社従来品/  
一般的なフロス  
繊維数約260本

ジーシー研究所測定データ



9-1 20代男性。隣接面と歯頸部に多量のプラークが見られる。歯間ブラシを挿入するスペースがないので、デンタルフロス指巻き法をご提案し、「ルシエロ フロス ミントワックス」を処方した。



9-2 「ルシエロ フロス アンワックス」はプラーク除去率が高いので、プロフェッショナルケアとして当院で使用している。患者さんが直接使用するとアンワックスは滑りが悪く、歯肉を傷つけてしまう恐れもあるため、セルフケアとしては、安全に使用できるミントワックスを処方している。



10-1 サブジンジバルカントウアを張らせた形態のアバットメント。



10-2 インプラントマージン部にアンワックスを使用。



10-3 マージン部の清掃を行うときに、スーパーフロスのような太めのフロスを使用すると痛みが生じる。その場合、「ルシエロ フロス」は一般的なフロスに比べてマイクロファイバーを採用しているため、プラークをしっかり絡めとってくれるため、当院では、インプラントの患者さんへのプロフェッショナルケアとしても活用している。

## ルシエロ 歯間ブラシ

従来の歯間ブラシでは、先端が折れやすく、ハンドル部も短いため、使用しづらいという声もいただいていた。その中で、歯間ブラシを患者さんが継続して使ってくださいようなより良い製品がないかと思っていました。

「ルシエロ 歯間ブラシ」は、実際に使用してみるとハンドル部も長くしっかり持つことができ、先端のワイヤー部分の

強度も高く、なによりデザイン性に優れており、患者さんの目をひく製品です。

ヘッド部は、付け替えタイプで、向きもアウターアングル、インナーアングルと患者さんご自身で簡単に変わることができ、臼歯部までしっかり通すことができます。

### ルシエロ 歯間ブラシ



2つのアングルを選ぶことができる



アウターアングル



インナーアングル



11-1 60代女性。上顎臼歯インプラント部にプラークが多量にみられた。メンテナンスへ移行したが、臼歯部へのブラッシングが苦手ということで、今回「ルシエロ 歯間ブラシ」を提案した。



11-2 臼歯部は、ハンドル部の長い「ルシエロ 歯間ブラシ」がスムーズに届きやすいと好評いただいている。臼歯部などの届きにくい部位へのアプローチとして、「ルシエロ歯間ブラシ」の特徴を活かしてアウターアングル、インナーアングルと入れやすい方を選んでもらう。



11-3 インナーアングルで歯間ブラシを入れている写真。



11-4 アウターアングルで歯間ブラシを入れている写真。

## ルシェロ フロッサー

患者さんへフロスのご提案をする時、なかなか時間がなくて毎日続けられない、面倒などという意見をよくいただきます。また、指巻きタイプのフロスでは、器用不器用で差がでてしまうため、指導する時に迷うことがありました。

「ルシェロ フロッサー」は、そんなフロスが苦手な方や子

供からご年配の方まで、幅広くご提案することができる製品です。

先端部分が回転し、前歯部や臼歯部で使い分けでき、ハンドル部も歯ブラシのサイズで持ちやすく、今までにないデザインではないでしょうか。



## ルシェロ ペリオブラシ

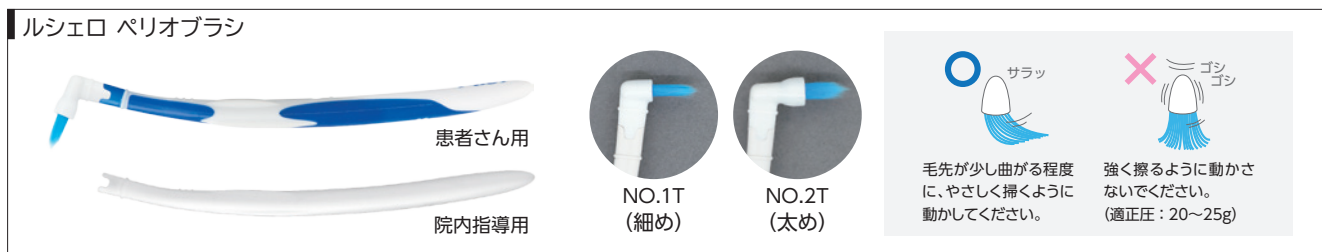
歯周ポケットやインプラント部、補綴物周囲などのペリオリスクの高い部位を低侵襲的にケアできるブラシです。

毛先がやわらかめですが、しっかり歯周ポケット内へ入り込み、プラークを除去できます。また、毛先の色がブルーのため、プラークを確認しやすく、患者さんへのTBI時にもわかりやすく説明できるので、患者さんのモチベーションアップにも繋がります。

毛先のサイズが2種類（細めと太め）ありますので、症例

に応じて使い分けることができ、当院では欠かせないツールのひとつです。院内指導用のハンドルはオートクレーブ滅菌対応となっているので、患者さんへ安心・安全にプロフェッショナルケアが行えます。

使用時の注意点として、強い圧で毛先をゴシゴシ動かしてしまうと、患者さんへ痛みを与えてしまいますので、ロービング圧と同等の20～25gの範囲内で使用し、やさしく掃くように動かします。

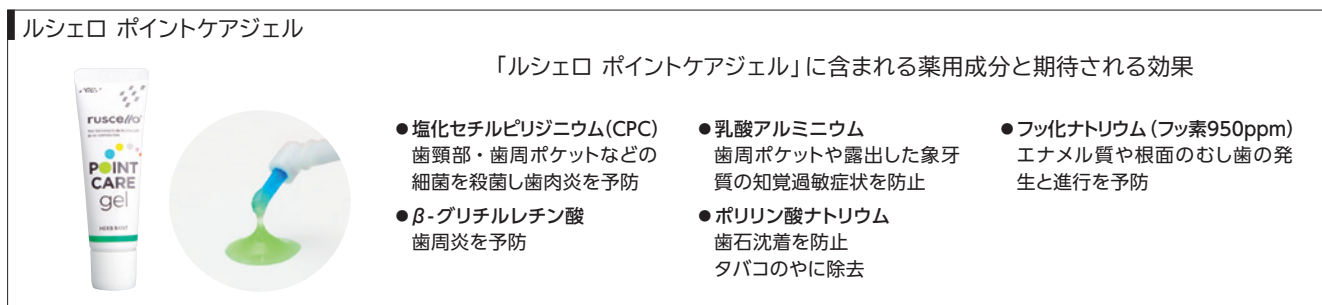


## ルシェロ ポイントケアジェル

薬用成分が5種類含まれており、う蝕や歯周病、知覚過敏、歯石沈着への予防として効果が期待できます。

当院ではメンテナンス時、矯正治療時のクリーニング時などに多く活用しています。

細部に浸透しやすいジェル性状で、操作性にすぐれ、ペリオブラシや歯間ブラシ使用時に併用しています。爽快感あるミントフレーバーで、患者さんから好評です。



「ルシェロ ポイントケアジェル」に含まれる薬用成分と期待される効果

- 塩化セチルピリジニウム(CPC) 歯頸部・歯周ポケットなどの細菌を殺菌し歯肉炎を予防
- β-グリチルレチン酸 歯周炎を予防
- 乳酸アルミニウム 歯周ポケットや露出した象牙質の知覚過敏症状を防止
- ポリリン酸ナトリウム 歯石沈着を防止 タバコのやに除去
- フッ化ナトリウム(フッ素950ppm) エナメル質や根面のむし歯の発生と進行を予防



12-1 40代、女性。上顎前歯に一部歯列不正がみられる。



12-2 指巻き法によるフロスは難しく継続できないので、「ルシエロ フロッサー」を提案した。結果、患者さん自身が叢生部も簡単にフロスを通すことができるようになった。



12-3 ポケットデプスが4ミリ存在する 4 3]間の清掃は、「ルシエロ ペリオブラシ NO. 1T」を使用することで痛みを与える事なく歯周ポケットにアプローチできる。



12-4 さらに「ルシエロ ポイントケアジェル」を使用し歯周ポケット内に浸透させることにより、歯周病ケアに活用している。



12-5 「ルシエロ ペリオブラシ NO.1T」は毛先にコシがあるので、このような叢生部へもしっかりとアプローチでき、プラークを除去することができる。



13-1 「ルシエロ ペリオブラシ NO.2T」は補綴修復物のポンティック基底部分にもしっかり毛先が入る。



14-1 叢生部はプラークが溜まりやすいので、「ルシエロ ペリオブラシ NO. 1T」でダイレクトに磨くことができる。



14-2 細部にもしっかり毛先が届く。



14-3 補綴修復物のマージン部にもスムーズに入り、歯肉を傷つけずに磨くことができる。



15-1 歯周病リスクの高い患者さん。根面板には縁下プラークが入りやすいので来院時、必ずチェックするようにしている。



15-2 このような細部までしっかり当てやすいので患者さん自身のセルフケアとしてもオススメしている。



16-1 根分岐部にプラークが確認できる。



16-2 根分岐部にも「ルシエロ ペリオブラシ NO.1T」はダイレクトに当てることができる。

## MIペースト

今回ルシエロシリーズを主にご紹介しましたが、当院では、予防の一貫として、「MIペースト」も多く活用しています。メンテナンス時や矯正治療中のクリーニング後など、う蝕予防の一貫として幅広く応用しています。

患者さんの好みも日によって変化します。毎回フレーバーを患者さんに直接選んでいただくことで、楽しみながらコミュニケーションをもつことができます。

### MIペースト



## まとめ

歯科の二大疾患であるう蝕と歯周病が抜歯の主原因となる年齢について考察してみると、う蝕が原因による抜歯の割合は20代～30代に最も高くなりますが、その後も一生涯にわたって30%程度がう蝕により抜歯されており、高齢になっても根面う蝕対策など、う蝕の予防を意識したブラッシングが必要となります。

また、歯周病が原因となる抜歯の割合は40代から急激に増加し、50代以降では抜歯原因の50%を占め歯を失う最も大きな原因となっています。

適切なプラークコントロールは、う蝕や歯周病の発症や進行のリスクを低下させるためだけでなく歯科治療を行う上で必要不可欠です。

このような結果を踏まえて、各症例

に応じて豊富な種類の中から選択できるルシエロシリーズは私たち歯科衛生士にとっても頼もしいケア用品であり、患者さんからも選ばれやすいツールではないでしょうか。

今後も、ルシエロシリーズを通してさらに患者さんに寄り添うケアを行っていきたいと思っています。



**松本 彩** (まつもと あや)  
 福岡県 医療法人美創会 歯科・林 美穂医院 歯科衛生士  
 略歴©2013年3月 九州医療専門学校歯科衛生士科 卒業。2013年4月 歯科・林美穂医院勤務



**筒井沙也香** (つつい さやか)  
 福岡県 医療法人美創会 歯科・林 美穂医院 歯科衛生士  
 略歴©2011年3月 福岡歯科衛生専門学校 卒業。2011年4月～2014年5月 きし哲也歯科医院勤務。2014年6月～ 歯科・林美穂医院勤務